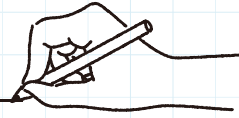


「はたらく二人」に聞きました。



故郷で

はたらく

〈新卒〉



J
ターン

製造業 | コンベヤ製造
マルヤス機械株式会社

岡谷南高校を卒業して、新潟の理系大学に進んだ「リケジョ」のKさん。いつけん、学んだことは違う道のようにも思えますが、実は自身が望んだ職場と出合え、企業からも求められて就職し、期待の星として日々業務に励んでいます。

Kさん チームで開発をしています。製品が新しい製品としてものになったときに、やりがいを感じます。

●今後、どうなりたいですか？

Kさん 部署の先輩方のように自分で考えて行動できる人になりたいです。ハサップなどの資格取得にも挑戦していきたいと思っています。

●就活生へのアドバイス

Kさん 合同企業説明会などに参加して、幅を広げているいろいろな企業を知ることが重要だと思います。私も食品以外の企業を知ることが今の会社に就職することができました。

●今の仕事のやりがいは？

●この会社に就職した理由は？
Kさん 工場見学をした際に食品に関わっていることを知り「ハサップ（食品衛生管理の手法）」を大学で学んでいたのが学んだことが生かせると思い、決めました。



開発部 開発課
Kさん (23歳)
新潟薬科大 応用生命科学部
応用生命学科卒

仕事内容

- ・食品に関わる商品の開発
- ・ハサップ(HACCP)に基づいた新製品の衛生管理



CADも就職してから覚えました



わからないことは先輩に教えてもらいながら進めます



仕事はチームで進めます

採用のキーワードは「リケジョ（理系の女子）」。

開発者としての女性の採用

SDGsに取り組むなかで、女性の採用に力を入れています。Kさんは食品衛生を学ばれていたので、ぜひ来ていただきたい人材でした。現在二人の女性開発者がいます。Kさんには食品衛生の専門知識を活かして、アシスタントとしてではなく、開発者として力をつけていってほしいと思います。

新しい時代に即して、性別にかかわらず仕事してもらえよう社内の体制を整え、女性が活躍できるような採用を考えています。今後も、今まではなかった、女性ならではの考え方や発想を新商品に生かしてくれる人材を求めていきます。

仕事内容と仕事ぶり

Kさんには、機械の洗浄性やメンテナンスのしやすさなど、食品衛生面から新商品の開発に携わってもらっています。まだわからないことも多いと思いますが、通信教育研修などで知識を得て、積極的に仕事に取り組んでいます。開発者に必要な好奇心と探究心がある人なので、期待しています。



開発部開発課係長
古畑 智和さん



総務部総務課マネージャー
ツトム 板山 力さん